

(1)

公益財団法人 藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター



第213号



2019年(平成31年)1月発行
(公財)藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター
藤沢市鶴沼神明1丁目3番18号
藤沢市生きがい福祉センター内
電話 0466(27)1100

もやいとは、人と人とを結び付けること(共働・共助)

明けの光

中野 文俊 (写真同好会)



新年のご挨拶

理事長 遠藤 圭計



新年あけましておめでとうございます。

生きがい就労センター会員の皆様におかれましては健やかに

新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、大阪や北海道での大地震、台風などによる大きな被害をもたらした自然の猛威の恐ろしさや猛暑などの異常気象による地球環境の変化を身近に実感した年でした。

わが国においては、さらに人口減少と少子高齢化が進み、社会構造が変化する中で、働く意欲と能力のあるすべての高齢者が年齢にかかわらず活躍し続けることができる、「生涯現役社会」を実現することがますます重要となっております。

また、国の「働き方改革実現会議」が決定した「働き方改革実行計画」においても、高齢者の就業促進として「健康づくりやフレイル対策を進めつつ、シルバー人材センターやボランティアなど、高齢者のニーズに応じた多様な就労機会を提供する」とされ、シルバー人材センター事業の果たす役割の重要性とシルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層高まっています。

今年の干支は「亥(イノシシ)」で、皆様の中でも猪突猛進のイメージが強いのではないかと思います。木偏を付けると「核」になり、個人としては知識を増やし、精神を育てる、組織としては、人材育成や設備投資を行うといった、内部の充実を心がけると良い年であるとのこと。

当協会としても、継続的に地域社会の期待に応えられるよう、力を蓄える大切な年として、昨年10月に制定した「人材育成基本方針」への取り組みを進めていきたいと考えています。

2019年も引き続き、会員の皆様にはより一層のご理解とご協力を賜るとともに、ご健勝・ご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

「みんなの海をきれいにしよう」
ビーチクリーンを実施しました

昨年の10月27日、片瀬西浜海岸において、ビーチクリーンを実施しました。

全国シルバー人材センター事業協会では、毎年10月をシルバー人材センター事業普及啓発促進月間と定めています。このため10月は全国のシルバー人材センターで、入会促進、就業拡大の活動展開、ボランティア活動（清掃活動等）、社会奉仕活動、各種イベントへの参加等の事業が実施されました。

本市でもこの機に合わせ、藤沢市まちづくり協会、シルバー人材センター・生きがい就労センターの事業の普及啓発活動と会員の社会参加推進事業を兼ねてビーチクリーンのボランティア活動を実施しました。

当日の朝は、小雨模様で開催が危ぶまれましたが、開始時間には天気も回復し、無事実施することが出来ました。

一般参加者や会員、協会役員等多くの方々により実施され、会員相互や協会役員等との親睦を図ることができました。

(公財)藤沢市まちづくり協会 遠藤主計理事長の開催挨拶の後、参加者の皆さんは可燃ごみや不燃ごみの袋をそれぞれ手にして一斉に砂浜に散っていききました。

海岸のごみは、砂浜に捨てられ



たり、川や海流などによって運ばれたりしてきます。ごみは豊かな海の環境を破壊し、特に近年プラスチックごみによる海の生態系への影響が懸念されています。多くのボランティア団体、企業、自治会等の皆さんの献身的な努力に支えられて、大切な海の環境や資源が守られています。

参加された皆さんは、細かい、いろいろなごみを丁寧に拾い集め、可燃・不燃ごみ袋に分別収集されています。収集されたごみは、集積場所に集められ、1時間ほどでビーチクリーンは無事所期の目的を達成し終了することができました。

シルバー人材センター・生きがい就労センターでは、健康で働く意欲のある方に、さまざまな就業

の機会を提供しています。今回は、シルバー人材センター・生きがい就労センター事業普及啓発促進のため、昨年同様に会員と市民が共同で行う海岸清掃ボランティア活動（ビーチクリーン）を実施したのですが、このほかにも、両事業を紹介するDVDの貸出しやホームページでのご紹介もしています。

最近には特に、シルバー人材センター分野では少子高齢化による様々な人手不足が深刻となり、シルバー人材に対する労働力として貢献する社会的要請や現役世代の下支え、また地域における存在意義が高まっています。この期待に応えるために、会員登録の拡大と就業開拓・事業発展に向けて一層の努力をしていきます。



藤沢市まちづくり協会、シルバー・生きがい事業のPRを行うことができました

縫製技能講習会を開催
「がま口ポーチの作り方」を学びました

生きがい就労センターの女性部門で、昨年9月25日に縫製技能講習会が開催されました。女性部門では、会員の働く機会を確保、提供し、生きがいの充実と福祉の増進を図っています。技能講習会を毎年開催し、技能と就業意欲の向上を図り、就業の拡大に努めています。今回も会員をはじめ、講習会に応募された一般の方々を交え行われました。

がま口は、身近でとても大切な持ち物です。講師の先生の指導により好きな生地を選び講習会がはじまりました。布と布の縫い合わせや口金の溝に接着剤を入れ、縫い合わせた布を押し込むなど、細かい作業の連続で、指先の器用さが求められました。1時間半程で、楽しみながら、それぞれ思い思いの素敵な作品が出来上がりました。あとは、出来上がったがま口に沢山のお金が入るのを期待しながらの作品でした。

作り方のコツを習得すれば、自分の好きな作品に挑戦出来る楽しい技能講習会でした。

「がま口ひんくちメロ」

がま口は、明治初期にヨーロッパから伝わった舶来品です。ご存知でしたか？

(3)

昨年(3)の11月13日に、生きがい就労センターの障がい者部門が常日頃仕事を請け負わせていただいで

企業見学に行きました
〜生きがい就労センター障がい者部門〜

明治政府の御用商人が、フランス、イギリスなどを回ったとき、フランスで大流行していた西歐式の牛革やがま口の鞆、財布を持ち帰り模倣して売りだしたのが、がま口の始まりといわれています。口金が蝦蟇(がま)の口のように開くことから、がま口の名がつけましたが、当初は「がま巾着」「西洋胴乱」と呼ばれ、肩にかけたり腰に提げたりしていました。



いる株式会社高井精器様のご厚意により企業見学をさせていただきました。

ベアリングを形づくる部品のひとつである、ベアリング保持器(リテーナー)の種類や、用途等の概要説明を受けた後、ベアリング保持器の成形作業、検査、自動整列器等を見学しました。

現在毎日作業している仕事と密接な関係があることから、多くの会員から質問が出るなど関心の高さがうかがえ、仕事の大切さや社会に果たす役割を改めて感じてもらおう良い機会となり、有意義な時間を過ごすことができました。



シルバー人材センター運営委員会 設立へ向けて

「設立準備会を開催中」

会員の皆さんがシルバー人材センターで、今以上にさらに積極的に活動するための一つの方策として、会員相互で意見交換、議論できる場として運営委員会の設置を目指し、設立準備会を開設しました。

この準備会は、会員10人で構成され、昨年の9月以降、運営委員会のあるべき姿などについて活発な議論がされています。

準備会での議論を踏まえ、今年度中には運営委員会の設立を予定しています。



確定申告を忘れずに!

センターにおいて配分金収入がある会員の方は、その金額にもよりますが、所得税の確定申告が必要となりますので、左記の期間中に必ず手続きを行って下さい。

期間 平成31年2月18日から平成31年3月15日まで ※土日祝をのぞく。
ただし、2月24日(日)と3月3日(日)は行っています。

詳細については、直接、藤沢税務署 Ⅸ(0466)2212141(大代表)にご確認、ご相談下さい。
なお、昨年中にセンターから会員の方にお支払いした配分金額(配分金総額票)については、1月中旬に郵送する予定としています。

お知らせ

このたび、長きに渡って健康相談医として会員の皆さんの健康管理促進のための健康相談や講座を努めていただきました、藤沢市民病院名誉院長 柏木政伸先生がご勇退されました。

後任に、藤沢市保健医療センター 副所長 姫野秀朗先生をお迎えし、健康相談、講座を開催いたしますので、ご参加をお待ちしています。

健康講座 2019年2月18日(月)

14時から15時まで

テーマ「健康診断結果の読み方・

見方・考え方」

健康相談 2019年1月28日(月)

2月18日(月)

3月18日(月)

各回13時30分から(2名程度を予定)

※参加ご希望の方は事務局までご連絡をお願いします。

会員の活動紹介

史跡歩き同好会

藤沢市六会史跡歩き

山本 伸哉

ひさびさの秋晴れで空は雲一つない青空の中、史跡歩きをしました。

出発は、藤沢駅から小田急線に乗り、六会日大前駅で下車し、東口へ出て、そこからまず線路に沿って藤沢駅方向へ行き、五つ目の角を左に曲がり、突き当りに「地神の森の公園」があり、その神社は特に由来の説明書きの看板もなくひっそりとたずんでいました。その後、国道467号線を渡り、畑道を約1キロ位歩き「花應院」に着きました。この寺は一六〇四年に創建された曹洞宗の寺で、本尊は「聖観音」です。

そこから境川沿いの植物を見ながら境川俣野遊水池へ向かい、そこで昼食をしました。その後、境川の橋を渡り「天王森泉公園」に向かいました。

この公園は一九九八年に横浜市区最大の地区公園として開園し、「くわくわの森」と呼ばれ、雑木林や見晴らしの丘、湧水の森などから構成されています。今回秋晴れの下、雪の富士山も見られて、満足した歩きでした。

(平成30年10月21日)

史跡歩き同好会 募集と連絡先
電話 23-5639 山本伸哉



写真同好会

表紙は語る

明けの光

中野 文俊

富士山を一周して来ました。神奈川県、静岡県、山梨県と巡り、富士山と富士五湖の撮影をし、全ての角度から撮りました。

この写真は富士宮からの早朝、田貫湖畔での写真です。

写真同好会 募集と連絡先
電話 81-7788 恩田平八郎まで

川柳・五行歌通信

若林 琢磨

新しい年を迎えおめでとうございませう。

“一年の計は元旦にあり”と申します。では

小生の駄作を一句“今年こそ今年こそはと年の暮れ”(何か始めようと思っている内に12月になってしまいましたね。皆様は?)()

川柳にしても、五行歌にしても、いくつかのタブーがあります。政治・経済・宗教や人への揶揄・中傷。二十音以上(六八五まで)それにHな句。しかし艶物は良いとされています。…が、Hとお色気との境は人により異なる様です。次号から少し詠んでみようかとも思っています。今年も楽しい川柳と五行歌をお届けしますね。

なお、当同好会にご参加のかたは、左記の森本、若林までご連絡ください

川柳同好会

句題 『平成』

選者 森本 生雄 31-0023
若林 琢磨 81-11407

喜びと悲しみ置いて平成を去る《裕助》 大正と昭和平成婆元氣 《たくま》
新号は私の好きな香々に《ゆうすけ》 平成の笑いを置いて職を退く《生雄》
改元に期待ふくらむけど卒寿《琢磨》 平成の過ぎ去る子等の幸願う《いきお》

五行歌

昭和 平成 流れ 去る 幸祈る

生雄

ウチの孫
チアガール
勉強嫌い
でも
すこ〜くかわゆい
もも子

(皆様からの旅行記等記事を募集中です!!)